

アイク語の談話資料：スクンバンの作り方

山本恭裕

東京外国語大学・kyoyamamoto@tufs.ac.jp

キーワード：アイク語、トリチェリ語族、パプア・ニューギニア、談話資料

1 はじめに

アイク語 (Ethnologue Code: ymo) はパプア・ニューギニア北西部サンダウン州に分布する未記述の消滅危機言語である。これまで唯一世に出ている 42 単語の語彙リストからトリチェリ語族に分類される (Laycock 1968, Hammarströmet al. 2020, Eberhard et al. 2021)。母語話者人口は 130 人程度で、アイク語話者たちはモナンディン地域の 6 つの集落に居住する (図 1)。全てのアイク語の話者は地域共通語であるトク・ピシンとの 2 言語使用を行っている。

本稿の目的は、言語資料として「スクンバンの作り方」というアイク語による談話をグロスと翻



図 1 アイク語の分布



図2 出来上がったスクンバン



図3 サゴヤシを削る様子

訳とともに提示することである。題名にある「スクンバン (*sku^mban*)」は、サゴヤシの樹幹から取り出したデンプンにお湯を加えて丸めた食べ物 (*sago pudding*) を指す¹ (図2)。スクンバンはアイク語話者たちにとって主食と呼べるものであり、1日に1、2度摂る食事はスクンバンと茹でた野菜から構成される。のちに提示する言語資料にもあるように、モナンディン地域ではサゴヤシからデンプンを抽出する作業は基本的に2人で、大抵の場合夫婦で行われる。男性(夫婦の場合は夫)がサゴヤシを切り倒し樹皮を剥ぎ、樹幹の芯を砕いていく(図3)。女性(夫婦の場合は妻)が砕かれた樹幹の芯を、サゴヤシの葉柄(アイク語で *papan*) で作った容器に入れる。そこに水を注ぎ入れてサゴヤシを揉むように洗い、その下に用意した別の容器に水とデンプンを貯めていく(図4、5)。このようにして取り出したデンプンからスクンバンを作るのも女性の役割である。サゴヤシから抽出されたデンプンはサンダウン州や隣の東セピック州などのパプア・ニューギニア低地で広く食べられており、上述した男女で異なる役割分担は他の地域でも見られる(Toyoda 2008: 24-26)。

サゴヤシは家の建材として使用されたり、また甲虫類の幼虫(アイク語で *luk*²、おそらくヤシオオオサゾウムシ(*Rhynchophorus ferrugineus*)の幼虫と思われる)の採集場所になったりと、アイク語話者たちの生活にとって重要な植物である。この言語資料は、アイク語話者たちの生活において重要な文化的側面を記録する目的も持つ。

¹ モナンディン地域を構成する残り3つの集落では、アイク語と系統的にとっても近いと思われるミリア語が話されている。ミリア語では、*sa^mban* がスクンバンと同じものを指示するのに用いられる。

² *luk* は比較的小さいものを指す。大きなものは *anal* と呼ぶ。



図4 サゴヤシを洗う容器



図5 削ったサゴヤシを洗う様子

2 アイク語のプロファイル

アイク語は3つの母音音素 /i, a, u/ と12の子音音素 /p, ^mb, m, t, ⁿd, n, k, ^ŋg, ^kŋ, s, l, r/ を持つ。閉鎖音は前鼻音化音と非前鼻音化音の2系列であり、前鼻音化音は発話開始位置やイントネーション句初頭において非前鼻音化有聲閉鎖音の異音で実現することが見られる³。母音について、[i] や [ə] が弱化母音あるいは挿入母音として現れる。/i, u/ は [i, u] 及び [j, w] の異音を持つ。アイク語では重子音が見られない。

主要な品詞クラスとして名詞、形容詞、動詞を同定できる。単数名詞には *feminine/masculine* の文法的性の区別がある。人間や大きな動物では、指示対象の実際の生物学的性によってどちらのクラスになるかが決定される。不明である場合などでは *feminine* として扱われる。それ以外の有生物や無生物を表現する単数名詞は一貫して *feminine* として振る舞う。複数形においては名詞に文法的性の区別はない。

形態的には接頭辞、接中辞、接尾辞を持つが、分析的な形態プロセスだけでなく融合的な特徴が見られる。その他の品詞と比べて動詞形態論が複雑であり、名詞句との文法関係が標示されるほか、ムードの情報が表現される。ただし今のところ名詞抱合は見られていない。

語順について、主要部前置が一貫して好まれる。他動詞節は A-V-O が基本語順で、名詞句内では修飾要素が主要部名詞に後続する (i.e. N-Adj)。ニューギニア地域では O-V, N-Adj という語順が広く分布し、アイク語のような主要部前置はトリチェリ語族にのみ強く見られる傾向である

³ 非前鼻音化有聲閉鎖音の異音の厳密な実現位置についてはまだ不明である。

(Donohue 2010)。一つの節に、形態論的に完全な複数の動詞が頻繁に現れる。隣接地域のパプア諸語に見られる主語同一性標示 (switch-reference marking) を含め medial と final verb のような動詞形態論的対立を持たない。

3 本文

本節では言語資料の本文を語釈、和訳とともに提示する。本言語資料の音声データは、2019年9月17日にパプア・ニューギニア、サンダウン州のモナンディン地域において行った調査によって得られた。話者は同地域出身の女性である。本人を含め彼女の正確な年齢について知るものはないが、恐らく40代と思われる。調査ではリニア PCM レコーダー (ZOOM H4n pro) にダイナミックマイク (SHURE PGA58) を接続し、音声 (44.1kHz/16bit) を取り込んだ。同日に他のアイク語話者の協力を得て本文を国際音声記号で書き起こした。後に、筆者が ELAN を用いて注釈付けを行った。

談話の表記には国際音声記号を用い、1段目に母音挿入など一定の音韻プロセスを経たレベルの表記を、2段目にそれらを経ていない音韻表記を、3段目に語釈を、4段目に和訳を示す。談話を構成する文の区切りは韻律特徴や統語構造、意味的なまとまりを基準としている。ちなみに、アイク語は書かれるということが普段全く、あるいはほとんどないが、話者たちはラテン文字を用いて自身の言語を書く知識を持っている。

本談話は練習などは行わず自然に語られたものの録音であるため、繰り返しや言い淀み、話者自身による訂正などが見られる。本稿ではこれらの修正は極力行わず、できるだけ実際に近い形で提示する。また、既に述べたように動詞はムードについて屈折することがわかっている。本談話では、現実ムードは注釈で明示せず、非現実ムードのみを注釈で明示する。

- (1) minak ⁿduak muai.
 m-na-k ⁿduak m-uai
 1SG.SBJ-talk-3SG.F.OBJ here 1SG.SBJ-sit
 私がここで話している⁴。

- (2) pil p^kŋara liau.
 p-il p-^kŋara liau
 1PL.SBJ-go 1PL.SBJ-cut sago.palm
 私たちはサゴヤシを切りに行く。

⁴ uai ‘to stay’ はここで継続アスペクトの意味を表現していると思われる。存在動詞や姿勢動詞を継続アスペクトとして使用する言語はパプア諸語で一般的である (Foley 1986: 144)。

- (3) p^kɲara pinis psikawak.
 p-^kɲara pinis p-skaua-k
 1PL.SBJ-cut PFV 1PL.SBJ-hit-3SG.F.OBJ
 サゴヤシを切って、それを叩いて砕く。
- (4) ptakau tukuauparm.
 p-takau tukuau+parm.
 1PL.SBJ-make stick+bed
 私たちは（サゴヤシを洗うための）容器を作る。
- (5) m^kɲara.
 m-^kɲara
 1SG.SBJ-cut
 私は切る。
- (6) jaja n^kɲara ^kɲara psikawak.
 iaia n-^kɲara ^kɲara p-skaua-k.
 dad 3SG.M.SBJ-cut PAUSE CUT PAUSE 1PL.SBJ-hit-3SG.F.OBJ
 夫がサゴヤシを切って砕く。
- (7) ptakau tukuauparm.
 p-takau tukuau+parm.
 1PL.SBJ-make stick+bed
 私たちは容器を作る。
- (8) wop mial mtakau tukuauparm.
 uup m-ial m-takau tukuau+parm.
 1SG 1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-make stick+bed
 私が容器を作りに行く。
- (9) mla psikawak liau.
 m-la p-skaua-k liau
 1SG.SBJ-come 1PL.SBJ-hit-3SG.F.OBJ sago.palm
 私は（夫のところに）戻って、私たちがサゴヤシを砕く。
- (10) mial mi^ɔga^kɲau mial msi^ɔgak.
 m-ial m-^ɔga^kɲau m-ial m-si^ɔga-k
 1SG.SBJ-go [pause] 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ
 私は（砕いた）サゴを持って（洗い場に）行き、それを洗う。

- (11) mi^ŋgal msal papan mliak sulp.
 m-^ŋgal m-sal papan m-lia-k sulp
 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-put sago.petiole 1SG.SBJ-fill-3SG.F.OBJ water
 サゴヤシの葉柄で作った容器にサゴを入れ、それを水で満たす。
- (12) msa^kŋar minar pəpan.
 m-sa^kŋar m-nar papan
 1SG.SBJ-pour 1SG.SBJ-go.down sago.petiole
 私は容器に水を注ぐ⁵。
- (13) msi^ŋgak liau mparak uⁿdiu u^ŋgal
 m-si^ŋgak liau m-para-k uⁿdiu u-^ŋgal
 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ sago.palm 1SG.SBJ-break-3SG.F.OBJ stem.of.sago 3SG.F.SBJ-put
 uwai
 u-uai
 3SG.F.SBJ-sit
 私はサゴを洗い、洗い終わったのを置いておく。
- (14) msi^ŋgak unɪmar.
 m-si^ŋgak u-n<am>ar
 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ 3SG.F.SBJ-go.down<CONT>
 私はサゴを洗い、それらが⁵ (別の容器に) 落ちていく。
- (15) msi^ŋgak unar pinis
 m-si^ŋgak u-nar pinis
 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ 3SG.F.SBJ-go.down PFV
 私は (サゴを) 洗い、それが下に落ちる⁶。
- (16) unar warku.
 u-nar u-arku
 3SG.F.SBJ-go.down 3SG.F.SBJ-stay
 サゴが落ちて、留まる。
- (17) liau par warku unuau putaituk wop smpa^ŋgak.
 liau par u-arku u-nuau putaituk uup s-m-pa^ŋgak
 sago.palm top 3SG.F.SBJ-stay 3SG.F.SBJ-go.up full 1SG again-1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ
 下の容器が満たされて、そしたらまた別のを洗う。

⁵ ここで移動しているのは水であり話者は移動していないが、二つ目の動詞 *minar* には一人称単数の拘束人称形態素がついている。のちに見る例文 (51) も同様である。対照的に、例文 (14)、(15) では本来の移動物を指標する三人称単数女性の指標が表れている。

⁶ *pinis* 'PFV' はトク・ピシンからの借用。

- (18) mpa^ɔgak sulp ujal.
 m-pa^ɔga-k sulp u-ial
 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ water 3SG.F.SBJ-go
 私は洗う。水が³(容器に)行く。
- (19) smi^ɔga^kɲau sulp ula par smsa^kɲar unar
 s-m-^ɔga^kɲau sulp u-la par s-m-sa^kɲar u-nar
 again-1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ water 3SG.F.SBJ-come top again-1SG.SBJ-pour 3SG.F.SBJ-go.down
 papan.
 papan
 sago.petiole
 また私は水を持ち上げて、また容器に注ぐ。
- (20) msi^ɔgak nau.
 m-si^ɔga-k nau
 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ now
 そしてサゴを洗う⁷。
- (21) mial pinis mla mi^ɔga^kɲau mial taluk.
 m-ial pinis m-la m-^ɔga^kɲau m-ial taluk
 1SG.SBJ-go PFV 1SG.SBJ-come 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-go sago
 往復して砕いたサゴを持っていく。
- (22) smi^ɔga^kɲau minar kaluak mial msi^ɔgak.
 s-m-^ɔga^kɲau m-nar kaluak m-ial m-si^ɔga-k
 again-1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-go.down basket 1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ
 再びカゴを持って下ってサゴを洗う。
- (23) mi^ɔga^kɲau mial taluk smial mi^ɔgal muai.
 m-^ɔga^kɲau m-ial taluk s-m-ial m-^ɔgal m-uai
 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-go sago again-1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-sit
 砕いたサゴを持って行って置いておく。
- (24) mi^ɔgal muai smsi^ɔgak
 m-^ɔgal m-uai s-m-si^ɔga-k
 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-sit again-1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ
 置いておいてまた洗う。

⁷ nau 'now' はトク・ピシンからの借用。

- (25) msi^ɔgak pinis.
 m-si^ɔga-k pinis
 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ PFV
 洗ってしまう。
- (26) mla mial marik liau anpinis.
 m-la m-ial m-ari-k liau an-pinis
 1SG.SBJ-come 1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-look-3SG.F.OBJ sago PFV-PFV
 往復して、サゴ（の様子）を見る。
- (27) mi^ɔga^kɲau taluk miawak mial msi^ɔgak.
 m-^ɔga^kɲau taluk m-iaua-k m-ial m-si^ɔga-k
 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ sago 1SG.SBJ-carry-3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-wash-3SG.F.OBJ
 砕いたサゴを取って運んで行って洗う。
- (28) nau pinis long em nau miliam.
 nau pinis long em nau m-liam
 now PFV LOC 3SG now 1SG.SBJ-go
 その作業が終わって私は移動する⁸。
- (29) miliam.
 m-liam
 1SG.SBJ-go
 私は移動する。
- (30) miliam pipa^ɔgak.
 m-liam p-pa^ɔga-k
 1SG.SBJ-go 1PL.SBJ-clean.up-3SG.F.OBJ
 片付けに行く（水を捨てる）。
- (31) pnau^ɔgak pla^mbalak pipa^ɔgak.
 p-nau^ɔga-k p-la^mbala-k p-pa^ɔga-k
 1PL.SBJ-take-3SG.F.OBJ 1PL.SBJ-clean-3SG.F.OBJ 1PL.SBJ-clean.up-3SG.F.OBJ
 （作業したところを）掃除する。
- (32) minikarik.
 m-nakari-k.
 1SG.SBJ-remove-3SG.F.OBJ.
 私は片付ける。

⁸ *miliam* ‘1SG.SBJ:go’ 以外はトク・ピシンの表現である。

- (33) liau minikarik.
 liau m-nakari-k.
 sago 1SG.SBJ-remove-3SG.F.OBJ.
 サゴを片付ける。
- (34) mi^ɔgal minar uⁿdiu mparak mi^ɔgal
 m-^ɔgal m-nar uⁿdiu m-para-k m-^ɔgal
 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-go.down stem.of.sago PAUSE 1SG.SBJ-break-3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-put
 minar kuluak.
 m-nar kuluak
 1SG.SBJ-go.down sago
 幹をおいて (山を) 下る。
- (35) mi^ɔgal minar.
 m-^ɔgal m-nar
 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-go.down
 (それを) おいて (山を) 下る。
- (36) uwai.
 u-uai
 3SG.F.SBJ-sit
 (それは) そこに留まる。
- (37) mi^ɔga^kɲau liau mi^ɔgal minar uⁿdiu.
 m-^ɔga^kɲau liau m-^ɔgal m-nar uⁿdiu
 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ sago 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-go.down stem.of.sago
 私は (洗った) サゴを持って、幹は置いていく。
- (38) pimauruk pimala.
 p-mauru-k p-ma-la.
 1PL.SBJ-raise-3SG.F.OBJ 1PL.SBJ-EMPH-COME
 私たちはサゴを持って家に戻る。
- (39) mla mtakak waikau.
 m-la m-taka-k uaikau
 1SG.SBJ-come 1SG.SBJ-cut-3SG.F.OBJ leaf
 私は (器にする) 葉を切る。

- (47) mi^ŋga^kŋau sulp.
 m-^ŋga^kŋau sulp
 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ water
 私は水を用意する。
- (48) msa^kŋar unar waⁿduk.
 m-sa^kŋar u-nar u-aⁿdu-k
 1SG.SBJ-pour 3SG.F.SBJ-go.down 3SG.F.SBJ-and-3SG.F.OBJ
 それを全部注ぐ。
- (49) m^kŋanak niu, m^kŋawak niu.
 m-^kŋana-k niu m-^kŋaua-k niu
 1SG.SBJ-make.fire-3SG.F.OBJ fire 1SG.SBJ-make.fire-3SG.F.OBJ fire
 火をどんどん焚く⁹
- (50) m^kŋawak niu ujal usak.
 m-^kŋaua-k niu u-ial u-sak
 1SG.SBJ-make.fire-3SG.F.OBJ fire 3SG.F.SBJ-go 3SG.F.SBJ-boil
 火を焚いて水を沸騰させる。
- (51) mi^ŋga^kŋau liau mi^ŋgal minar waiput.
 m-^ŋga^kŋau liau m-^ŋgal m-nar uaiput
 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ sago 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-go.down tub
 サゴ（の粉）を取って桶に入れる。
- (52) tukuau taluktaluk tukuau t^ŋgalau.
 tukuau taluktaluk tukuau t^ŋgalau
 stick pull PAUSE stick cut.into.pieces
 棒で混ぜて、棒で細かくする¹⁰。
- (53) waija mi^ŋga^kŋau.
 uaiia m-^ŋga^kŋau
 strainer 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ
 私は濾し器を手にする。

⁹ *kŋana* と *kŋaua* は同一の語彙素の実現形と考えられるが、どのような形態（統語）特徴の違いがあるのかは不明である。

¹⁰ *taluktaluk* および *t^ŋgalau* が拘束人称形態素などを含むのかについては今のところ不明である。

- (54) mi^ɲga^kŋau mla mi^ɲga^kŋau pipia, mi^ɲga^kŋau
 m-^ɲga^kŋau m-la m-^ɲga^kŋau pipia, m-^ɲga^kŋau
 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-come 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ strainer 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ
 pipia mial mial *pinis*.
 pipia m-ial m-ial *pinis*
 strainer 1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-go PFV
 濾し器を取ってきて、サゴ（の粉）を濾していく。
- (55) aiku! aiku!
 aiku aiku
 no no
 ちがう！ちがう！
- (56) wi mi^ɲga^kŋau pipia mial msa^kŋar muai pikiap.
 ui m-^ɲga^kŋau pipia m-ial m-sa^kŋar m-uai pikiap
 now 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ strainer 1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-pour 1SG.SBJ-sit stone
 そうしたら濾し器で濾して火のそば (*lit.* 石のところ) に置いておく。
- (57) mi^ɲga^kŋau nau mi^ɲga^kŋau mliak sulp asuŋ.
 m-^ɲga^kŋau nau m-^ɲga^kŋau m-lia-k sulp asuŋ
 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ now PAUSE 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-fill-3SG.F.OBJ water bowl
 私は水をボールに注ぐ。
- (58) mliak mliak mla sulp.
 m-lia-k m-lia-k m-la sulp
 1SG.SBJ-fill-3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-fill-3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-come PAUSE water
 水を注ぐ注ぐ。
- (59) sku^mban uwa.
 sku^mban u-ua
 sago.pudding 3SG.F.SBJ-die
 スクンバンができる。
- (60) uwa uwai waiput.
 u-ua u-uai uaiput
 3SG.F.SBJ-die PAUSE 3SG.F.SBJ-sit tub
 (スクンバンが) 桶にできている。

- (61) minupmak minukak mial mial.
 m-nupma-k m-nuka-k m-ial m-ial
 1SG.SBJ-halve-3SG.F.OBJ PAUSE 1SG.SBJ-halve-3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-go 1SG.SBJ-go
 それを半分に切って切って切って。
- (62) mtakak mi^ŋgal msal waikau.
 m-taka-k m-^ŋgal m-sal uaikau
 1SG.SBJ-cut-3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-put leaf
 切って葉の上に置く。
- (63) mku^mbul nau mtakak mtakak mtakak
 m-ku^mbul nau m-taka-k m-taka-k m-taka-k
 1SG.SBJ-spin now 1SG.SBJ-cut-3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-cut-3SG.F.OBJ 1SG.SBJ-cut-3SG.F.OBJ
 mi^ŋgal muai waikau wasal mi^ŋga^kŋau
 m-^ŋgal m-uai uaikau u-asal m-^ŋga^kŋau
 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-sit leaf PAUSE 3SG.F.SBJ-stay PAUSE 1SG.SBJ-take.3SG.F.OBJ
 panipmen mtuklawak.
 panip-main m-tuklaua-k
 vegetable-PL 1SG.SBJ-cook-3SG.F.OBJ
 (スクンバンを) くるくるして葉の上にどんどん置いていって、そして野菜を調理する。
- (64) mtuklawak uwai waⁿduk.
 m-tuklaua-k u-uai u-aⁿdu-k
 1SG.SBJ-cook-3SG.F.OBJ 3SG.F.SBJ-sit 3SG.F.SBJ-and-3SG.F.OBJ
 野菜を全部一緒に料理しておく。
- (65) usiar-mai msaup mau.
 u-siar-mai m-saup mau
 3SG.F.SBJ-turn-PFV 1SG.SBJ-call all
 野菜ができて、私はみんなを呼ぶ。
- (66) mla jep kaila!
 m-la iip kaila
 1SG.SBJ-come house 2PL.SBJ.come.IR
 みんな家のところに来て！
- (67) kal ^ŋgaik pu^kŋuam sku^mban.
 kal ^ŋgaik p-u^kŋuam sku^mban
 2PL.SBJ.come.IR 1PL 1PL.SBJ-eat.IR sago.pudding
 来てみんなでスクンバンを食べよう。

- (68) sku^mban panipmen mi^ɔgal minulawak pinis.
 sku^mban panip-main m-^ɔgal m-nulaua-k pinis
 sago.pudding vegetable-PL 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-put-3SG.F.OBJ PFV
 スクンバンと野菜をみんなに出す。
- (69) mi^ɔgal masal nau msaup mau, jaj warau jep ila, gaik
 m-^ɔgal m-asal nau m-saup mau iai uara-u iip i-la ^ɔgaik
 1SG.SBJ-put 1SG.SBJ-stay now 1SG.SBJ-call all dad child-3PL house 2PL.SBJ-come 1PL
 pu^kɲuam sku^mban nau.
 p-u^kɲuam sku^mban nau
 1PL.SBJ-eat.IR sago.pudding now
 食事を置いておいてみんなを呼ぶ、パパ、子供たち、こっちにおいで、スクンバンを食べ
 ましょう。
- (70) gaik pu^kɲuam sku^mban nau gaik pmai.
^ɔgaik p-u^kɲuam sku^mban nau ^ɔgaik p-mai
 1PL 1PL.SBJ-eat.IR sago.pudding now 1PL 1PL.SBJ-sit
 私たちは座ってスクンバンを食べる。
- (71) gaik pipmi.
^ɔgaik p-ipmi
 1PL 1PL.SBJ-sleep.IR
 私たちは眠りにいく。
- (72) dukum.
^ɔdukum
 end
 終わり。
- (73) anaiku.
 anaiku
 end
 終わり。

略号一覧

CONT = continuous, EMPH = emphatic, F = feminine, IR = irrealis mood, M = masculine, OBJ = object, PFV = perfective aspect, PL = plural, SG = singular, SBJ = subject, 1 = first person, 2 = second person, 3 = third person, < > = infix

謝辞

本稿は JSPS 科研費 20K13042、19KK0012 の成果の一部である。本稿の執筆に当たっては千田俊太郎氏から有益なコメントをいただいた。また、筆者を迎え入れ、精力的に調査に協力してくれたアイク語話者たちに深く感謝する。

参考文献

- Donohue, Mark. 2010. The Papuanness of Papua New Guinea's eastern highlands. In Billings, Loren and Nelleke Goudswaard (eds.), *Piakandatu ami Dr. Howard P. McKaughan*, 87-93. Linguistic Society of the Philippines and SIL Philippines.
- Eberhard, David M., Gary F. Simons, and Charles D. Fennig (eds.). 2021. *Ethnologue: Languages of the World. Twenty-third edition*. Dallas, Texas: SIL International. (<http://www.ethnologue.com>, Accessed on 2021-03-2.)
- Foley, William A. 1986. *The Papuan languages of New Guinea*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Hammarström, Harald & Forkel, Robert & Haspelmath, Martin & Bank, Sebastian. 2020. *Glottolog* 4.2.1. Jena: Max Planck Institute for the Science of Human History. (<http://glottolog.org>, Accessed on 2021-03-02.)
- Laycock, Donald C. 1968. Languages of the Lumi subdistrict (West Sepik district), New Guinea. *Oceanic Linguistics* 7.1, 36-66.
- Toyoda, Yukio, Rieko Todo, and Hidekazu Toyohara. 2008. Sago as food in the Sepik area, Papua New Guinea. In Toyoda Yukio, *Anthropological studies of sago palm in Papua New Guinea*. Tokyo: Rikkyo University Centre for Aisan Area Studies.

受理日 2021 年 4 月 13 日